「平和と人権」市民ネットワーク情報 N018-9

事務局発行(℡ 0557-45-1182) http://peaceito.moo.jp 2018.9/24

宇都宮健児先生憲法講演会

10月6日(土) 13:30開場、14:00開演～ひぐらし会館～

講演会に向けてのメッセージ

弁護士 宇都宮 健児

安倍晋三首相は、自民党総裁選の中でも憲法９条に自衛隊を明記する憲法改正を行う強い意欲を示しています。近く開かれる臨時国会は、憲法改正の発議を許すか否かが大きな政治的争点となるでしょう。

一方で、最近のわが国では、生活保護バッシング、公文書の改竄・隠蔽・破棄、東京医科大学の女性受験生差別、自民党杉田水脈議員の「ＬＧＢＴは生産性がない」発言、中央省庁の障害者雇用水増し問題、優生保護法による障害者の強制不妊手術問題など、基本的人権が尊重されるまともな民主主義国とはとても言えないような問題が多発しています。

憲法は基本的人権を保障しているから最高法規なのです。どうすれば、憲法が保障する基本的人権が社会に定着し、平和と人権が守れる社会になるのか、皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

著書「自己責任論の嘘」より

①基本的人権の尊重は憲法の３つの理念の中核をなすものであり、国民主権も平和主義も、基本的人権を尊重するからこそ導き出されます。これは裏を返せば、基本的人権が重んじられない社会にあっては主権在民も平和主義も実現しえない、ということでもあります。

②9条を守るのはとても大切なことです。しかし、9条のみを死守しようとしても、それだけでは憲法の精神を守れないことは、この憲法の基礎構造からみて明らかです。

③憲法が保障する生存権や勤労者の団結権、団体交渉権などが実際に行使できていない社会に会っては、恒久平和主義だけを守るというのはいささか無理のある話です。

チケットは文泉堂書店、岩上書店で販売しています。不明な方は主催者(℡37-9134)まで問い合わせてください。当日の入場も可能です。受付で当日券をお求めください。

◆9 月 13 日、平和委員会「城ケ崎サークル」例会―「アベノミクス」学習会―の様子

◎戸田斉さんが「アベノミクス」を批判的に読み解いて報告されました。

①アベノミクスはデフレ脱却を旗印に掲げ、黒田日銀総裁らリフレ派は大胆な金融緩和を行った。が、日本経済がデフレ状態だったかは疑わしい。ミクロ経済学者はデフレではなく人口減少による需給ギャップが起きているので、貨幣供給を増やしてもこのギャップは解消されない、と批判している。

②金融緩和によって円安となり輸出企業を中心に利益が膨らみ、株高となった。しかし、儲けは企業の内部留保に回され、賃金は上がらず個人消費は増えない。

③日銀による国債の爆買いを止めると、国債価格の下落→金利上昇→国債の新規発行と償還困難→財政破綻となり、出口戦略が見えない。

◎意見交換―戸田さんの報告に対して、出席者は以下のような感想を述べた。

- 年金や生活保護にしわ寄せが行っている。格差が広がっている。
- 政治を変えなくては変わらない。身近な地方議会から。
- 主権者を育てる教育が必要。
- 若い人の保守意識を変える、まず身内から。

…それぞれの経験を交えた意見交換ができました。コヒーとケーキを美味しくいただきました。

2018 年保養ステイにご協力ありがとうございました。

新涼の候、このところ不安定な天候が続きますが夏のお疲れが出ていませんでしょうか。
夏の保養ステイにご支援下さいましてありがとうございました。
保養期間中天気が安定し、予定したプログラムをすべて実施することが出来ました。
子どもたちは自然の中で楽しく過ごし元気に帰って行きました。
これも皆様のご支援があったからこそ実現できたことと感謝の気持ちで一杯です。

報告パンフレットが出来ましたのでお送りさせて頂きます。
子供たちの楽しんでいる姿をご覧下さいませ。
来年も実施を予定しています。
今後ともよろしくお願い申し上げます。

子どもたちを放射能から守る伊豆の会
代表　　安部川てつ子

寄稿　介護保険サービスの低下は許せない　増田昊司（こうじ）

6月に政府が閣議決定した「骨太方針」には、消費税10%引き上げとともに、社会保障費を大幅にカットすることが盛り込まれました。しかし「方針」によるまでもなく、現実生活の中にすでに現れていることが見て取れるのではないでしょうか。介護保険のサービス抑制や制度改悪の先取りはすでに始まっているのです。実態を注目してみましょう。

介護認定を受けつつ病院通いの続く荻在住のYさんは、交通事故の被災者で裁判の係争中です。Yさんは杖をつきながら慎重に直進歩行をキープしつつ、土日以外は病院・診療所通いの日々です。介護保険が要支援2から要支援1に引き下げられた、と3ヵ月ほど前に伺いました。Sさんは単身者で車椅子を常用し病院通いもある方ですが、「要支援1のままだ」と、近所の娘さんは不満を語ります。要支援3のOさんは、がんセンターで手術入院し、退院の際は介護ベッドの搬送でした。退院後、月一回のがんセンター通院診察に当たっては、往復を兄さん(78歳)の運転で通っています。医療行為の一環であり交通安全上の配慮は介護保険制が優先的に関与・支援すべきではないでしょうか。しかも、手術直後の4月には要介護2に引き下げられました。入浴サービス、毎日2食の食事サービスなどを受け、レンタルのベッド生活-車椅子使用の生活です。多くの場合、ご当人は「私は何でも一人でできる」と、年寄共通の元気ぶりを発揮して、気張っていることがあるでしょう。行政がそうした”元気”に依存(便乗？)して、介護認定をより軽度に変更したり、サービス低下を図ったりしている、と見えてなりません。新聞報道では、ケースワーカーの認定行為の有料化や民営化などが目論まれていることも報じられています。高齢者や弱者や不慣れな素人を使ってサービスの低廉化を狙うならば許されません。

元々国民皆保険であり、その拡充・充実をすべきところを、時代に逆行して健康保険制度から後期高齢者を除外し、別枠で介護保険制度を導入して支払額を定め、度重なる負担額の増加を押し付ける―日本の社会保険制度を根本から揺るがせる〈政治〉は許せません。国民自身の健康増進で寿命を延ばし、高齢者はその一員であると同時に時代の担い手・先輩といえます。1%の大資本と99%の国民との”富のバランス"が釣り合ったとしても、人間の命の重さはすべて同一なのです。格差と貧困の存在は許されないのであり、社会保障は万人に等しく守られるべきものです。(7.25記)

※増田さんは「生活と健康を守る会」伊東支部の会員です。

催し物の案内―伊東市民劇場公演から

・演　目…修禅寺物語(岡本綺堂　原作)、語り:古谷和子、琵琶:塩高和之
・日　時…10月13日(土) 13:30開場、14:00開演
・会　場…ひぐらし会館ホール
・入場料…一般者2000円、市民劇場の会員は10月分までの会費で観劇できる。
・事務局…TEL/FAX 0557-36-2210　(火・金13:00～16:00)
(担当者…加田(090-1986-4425)

【お断り】前号に続き内容がネットワーク情報と連動していますので合体版としてお知らせさせていただきます

安倍九条改憲 NO！憲法を生かす 3000 万署名の成功を！

市民アクション通信

No.9
2018.9.22

発行 ＝ 安倍九条改憲NO！伊東市民アクション

署名集約先：伊東市職労付　〒414-0046 伊東市大原 2-1-1　Tel.0557-37-9134　Fax.0557-37-1347

１９日大行動

戦争する国 絶対反対！ 世界に誇れる９条守れ！

アピールパレードに ４０人参加

戦争法が強行採決されてからちょうど３年目に当たる９月１９日、市民へのアピールを強めようと、午後２時からパレードを行い、毎月の「１９日行動」よりも多い４０人が参加しました。横断幕を持ち、幟をはためかせ、「戦争法は今すぐ廃止！戦争する国絶対反対！」「憲法変えるな、政治を変えろ！」「辺野古新基地 NO！」などと、コールを繰り返しながら、４０分かけてバイパスから目抜き通りを行進しました。

信号待ちをしていた方からの「頑張ってね！」との励ましの声や、車内から手を振って応えてくれる方もおり、共感が広がりました。到着地の松川公園で、ふたたび全員でコールをして、安倍９条改憲を許さない決意を改めて固めあい終わりました。汗ばむほどの陽気になりましたが、空は高く、秋の気配も感じられる中で、元気に、心地の良い汗を流しました。

沖縄知事選　玉城デニー候補勝利必ず

沖縄県の未来、そして日本の民主主義と地方自治の岐路となる沖縄県知事選挙の火ぶたが切って落とされました。玉城デニー候補は、「ウチナーンチュのアイデンティティを思い起こし奮い立たせて未来の沖縄をつくろう」と訴え、「翁長知事の遺志をしっかり引き継ぎ、辺野古に新しい基地を作らせないことを明確にして堂々とたたかう」と力強く決意を語っています。沖縄県民と心一つに全国の力を結集して、玉城候補勝利のため身近にできることから応援しましょう。伊東市民アクションとしては、43,000 円のカンパを送りました。

★沖縄の友人、知人、有権者に電話で支持を訴えよう。

★短期決戦です。カンパの取り組みが非常に重要です。

カンパの送付先
郵便振替口座　番号　01710-8-62723　加入者名　沖縄県統一連